

令和5年度 第3回 消費生活eモニターアンケート集計

1 調査趣旨

◎消費生活とごみの減量・リサイクルについて

川崎市では、平成 25 年 9 月からプラスチック製容器包装の分別収集の全市拡大と普通ごみの収集回数を週 2 回に変更した結果、市の人口が 150 万人を突破した状況の中においても、平成 29、30 年度、令和元年度と 3 年連続で、1 人 1 日あたりのごみ排出量が、政令市最少となりました。しかし、令和 2 年度及び令和 3 年度はともに微増となりました。

改めて地球環境にやさしい持続可能なまちの実現をめざして、エコ暮らしを実践し、さらに 3 R（アンケート設問 5 参照）を推進することが求められています。

そこで、今回は、川崎市のごみの減量・リサイクルの取組を知っていただくとともに、ごみに関する消費者の実態と意識を調査し、今後の行政の参考資料とするためにアンケートを実施いたします。

◎地球温暖化対策について

川崎市では、2050 年の脱炭素社会の実現に向けて、市民・事業者・行政が一丸となって取組を加速していくために、脱炭素戦略「かわさきカーボンゼロチャレンジ 2050」を策定し、二酸化炭素（CO₂）の削減や地球温暖化防止の取組を進めています。

今回は、脱炭素社会の実現に向けて、温暖化等に関する意識や環境配慮行動の取組を調査し、今後の施策の参考とするため、アンケート調査を実施いたします。

- | | |
|--------|--|
| 2 調査事項 | 「1. 消費生活とごみの減量・リサイクルについて」
「2. 地球温暖化対策について」 |
| 3 調査対象 | 令和5年度消費生活eモニター 31 名
(1. 回答者数 28 名・回収率 90%、
2. 回答者数 28 名・回収率 90%) |
| 4 調査方法 | 市ホームページの回答フォームによる |

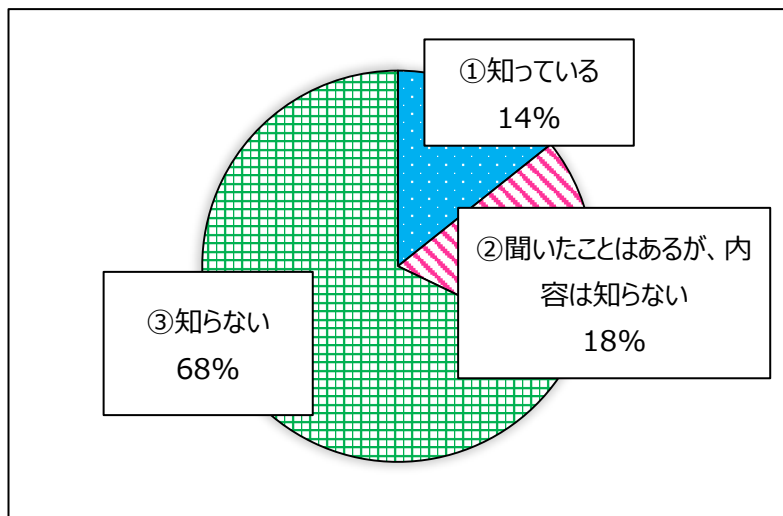
- 集計結果について、四捨五入の結果や複数回答の集計によるため、合計が 100% とならない場合があります。
- 調査結果中の「回答者数」は「調査対象者」から「未提出者」を除いた数としました。
- 自由回答、その他意見は一部抜粋。



1. 消費生活とごみの減量・リサイクルについて

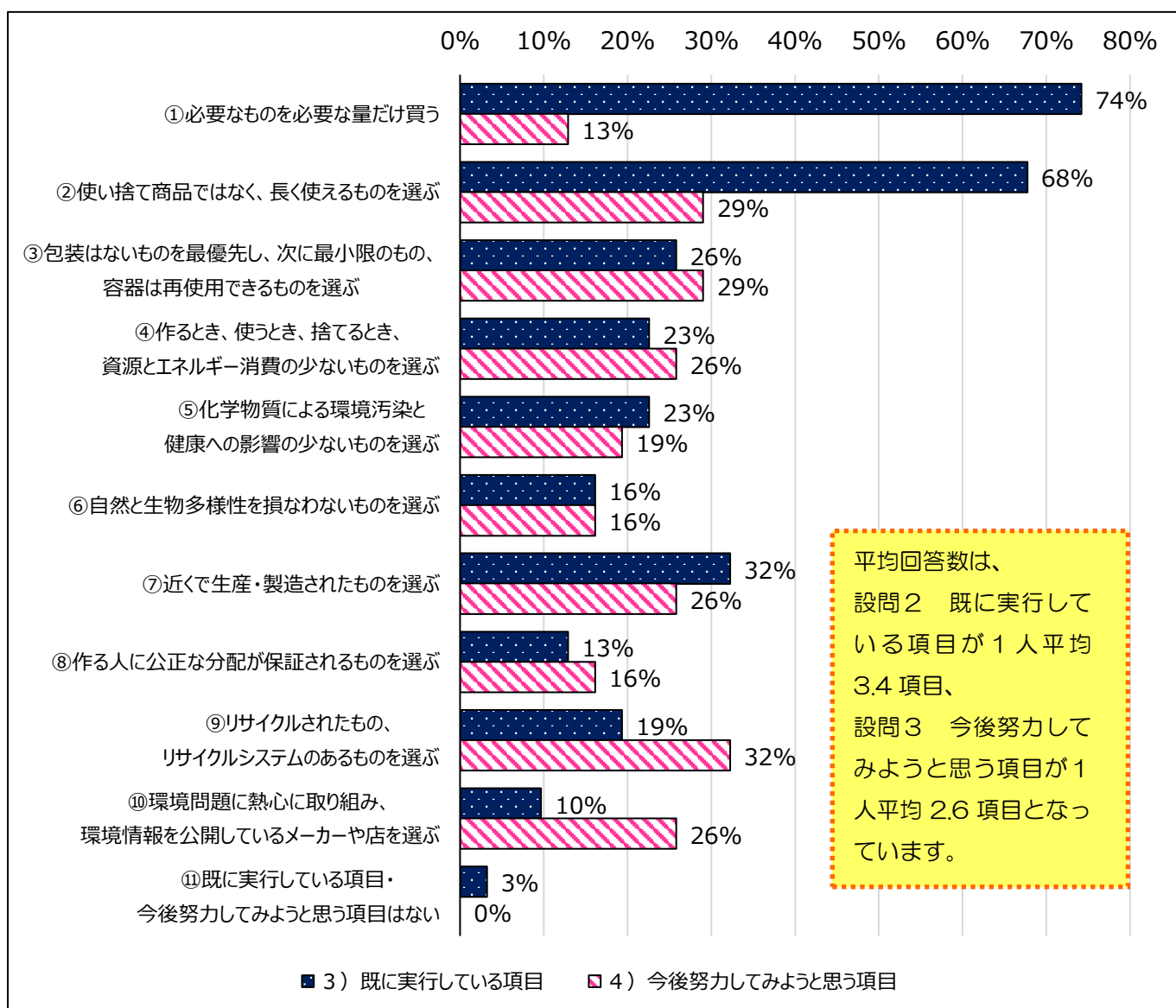
《グリーンコンシューマーとその行動について》

設問1 グリーンコンシューマーを御存知でしたか。

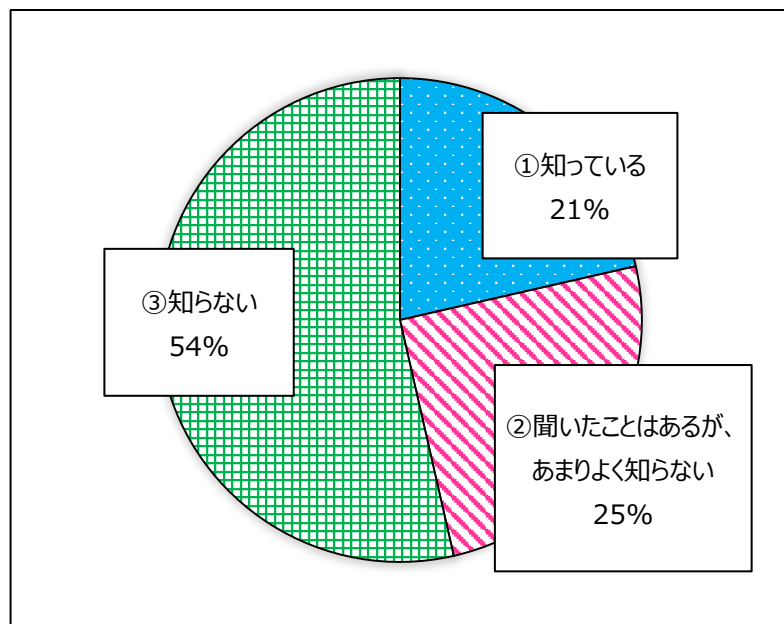


“グリーンコンシューマー”とは、環境に配慮した行動をする消費者のことです。

設問2、3 次のグリーンコンシューマー10原則（グリーンコンシューマー全国ネットワーク著「グリーンコンシューマーになる買い物ガイド」より）の中で、『既に実行している項目』『今は実行していないが、今後努力してみようと思う項目』があれば、お選びください。（複数回答可）

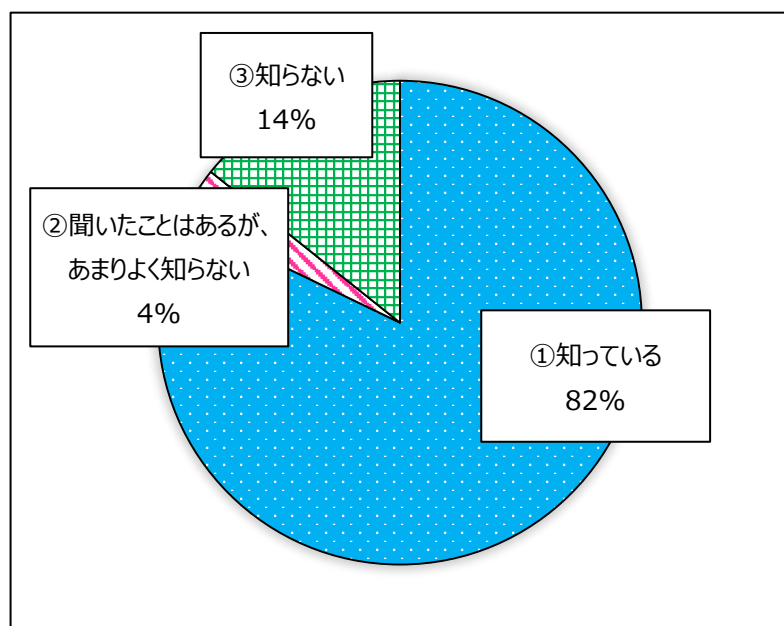


設問4 “エコ暮らし”という言葉を知っていましたか。



“エコ暮らし”とは、ごみの発生抑制に資する生活や活動、節電などの省エネ行動、庭や花壇の緑化の推進など、日々の暮らしの中で、環境に配慮した行動を積み重ねていくことです。

設問5 “3R”という言葉を知っていますか。



“3R”とは、
Reduce（リデュース）⇒発生・排出抑制：物を大切に使い、ごみを減らすこと。Reuse（リユース）⇒再使用：使える物は繰り返し使うこと。Recycle（リサイクル）⇒再生利用：ごみを資源として再び利用すること。の言葉の頭文字の3つのRのことです。

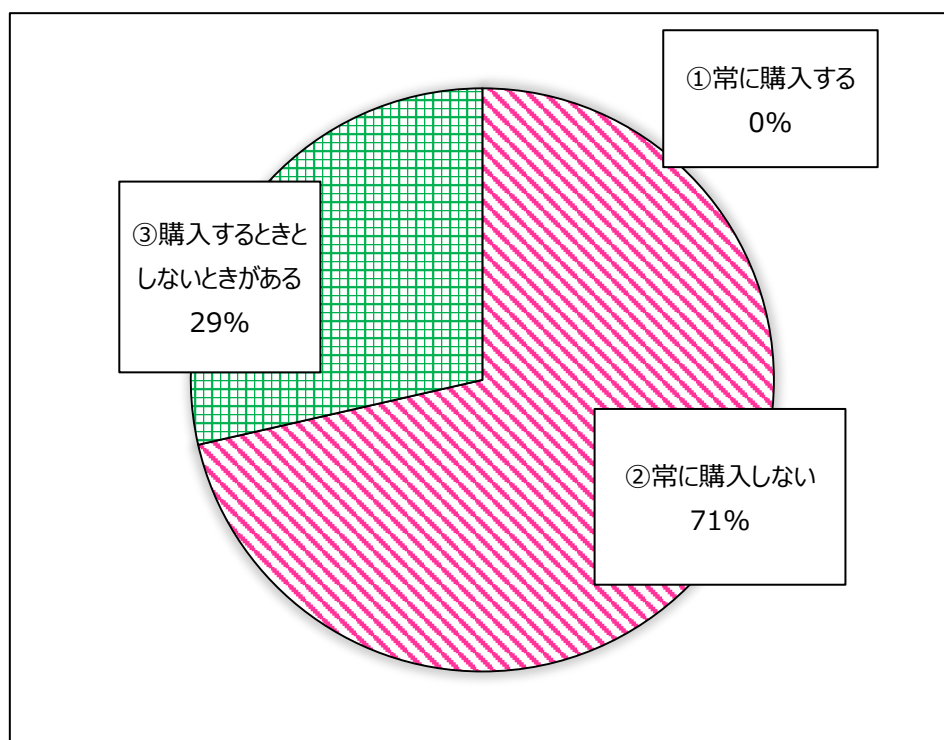
かわさき 3R 推進キャラクター。生まれも育ちも川崎で、3Rの大切さを伝える妖精です。耳と体の3つのRで「3R」を表しています。



かわるん

《レジ袋の削減やマイバッグの使用等の取組について》

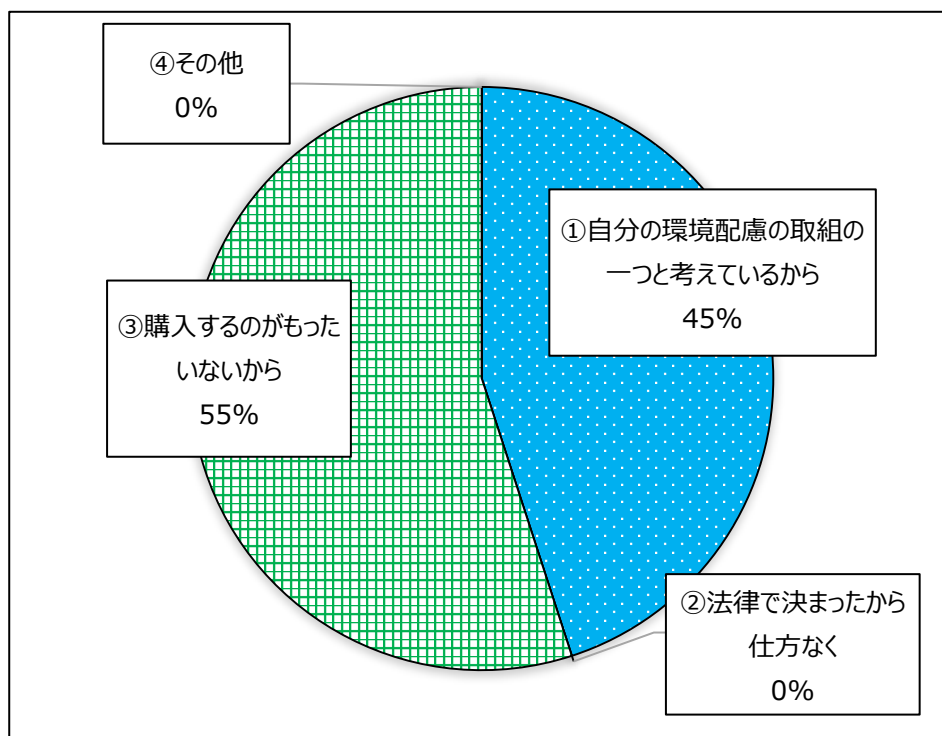
設問6 買い物の時に有料のレジ袋を購入していますか。



設問7【設問6で常に購入すると回答の方】レジ袋を購入する理由は何ですか。

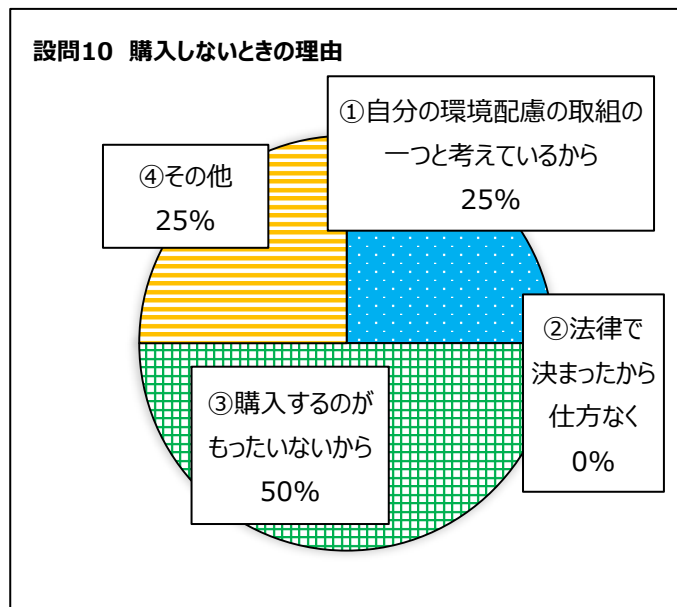
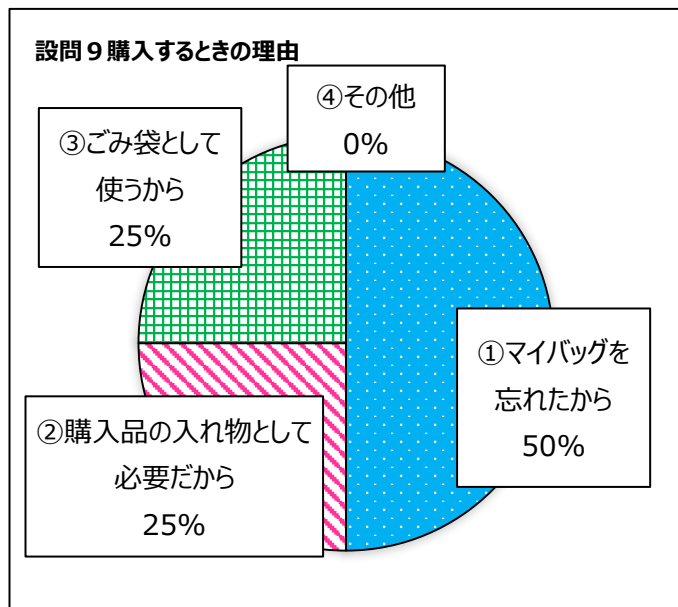
⇒「常に購入する」と回答した方は一人もいらっしゃいませんでした。

設問8【設問6で常に購入しないと回答の方】レジ袋を購入しない理由は何ですか。



設問9、10【設問6で購入するときとしないときがあると回答の方】

レジ袋を購入するとき、購入しないときの理由は何ですか。



その他の内容

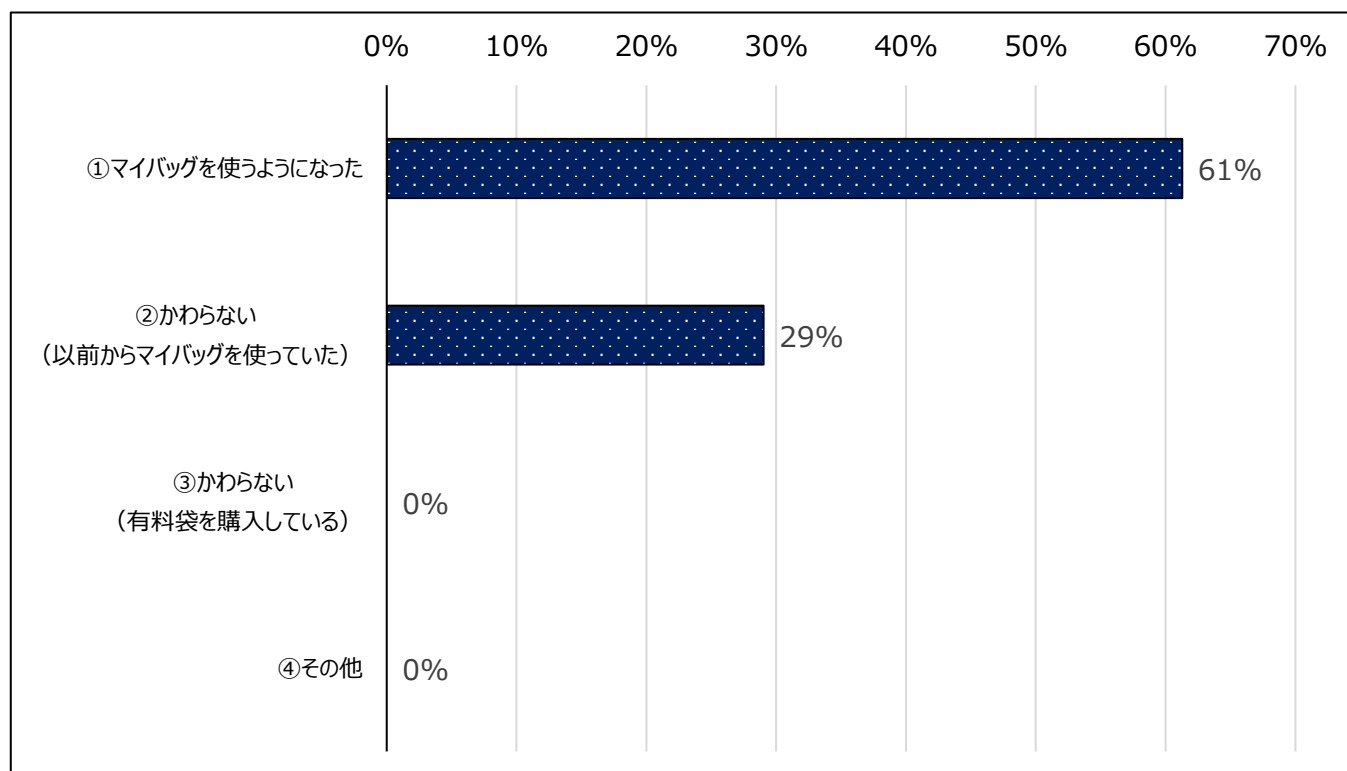
■購入するときの理由

- ・一人もいらっしやいませんでした。

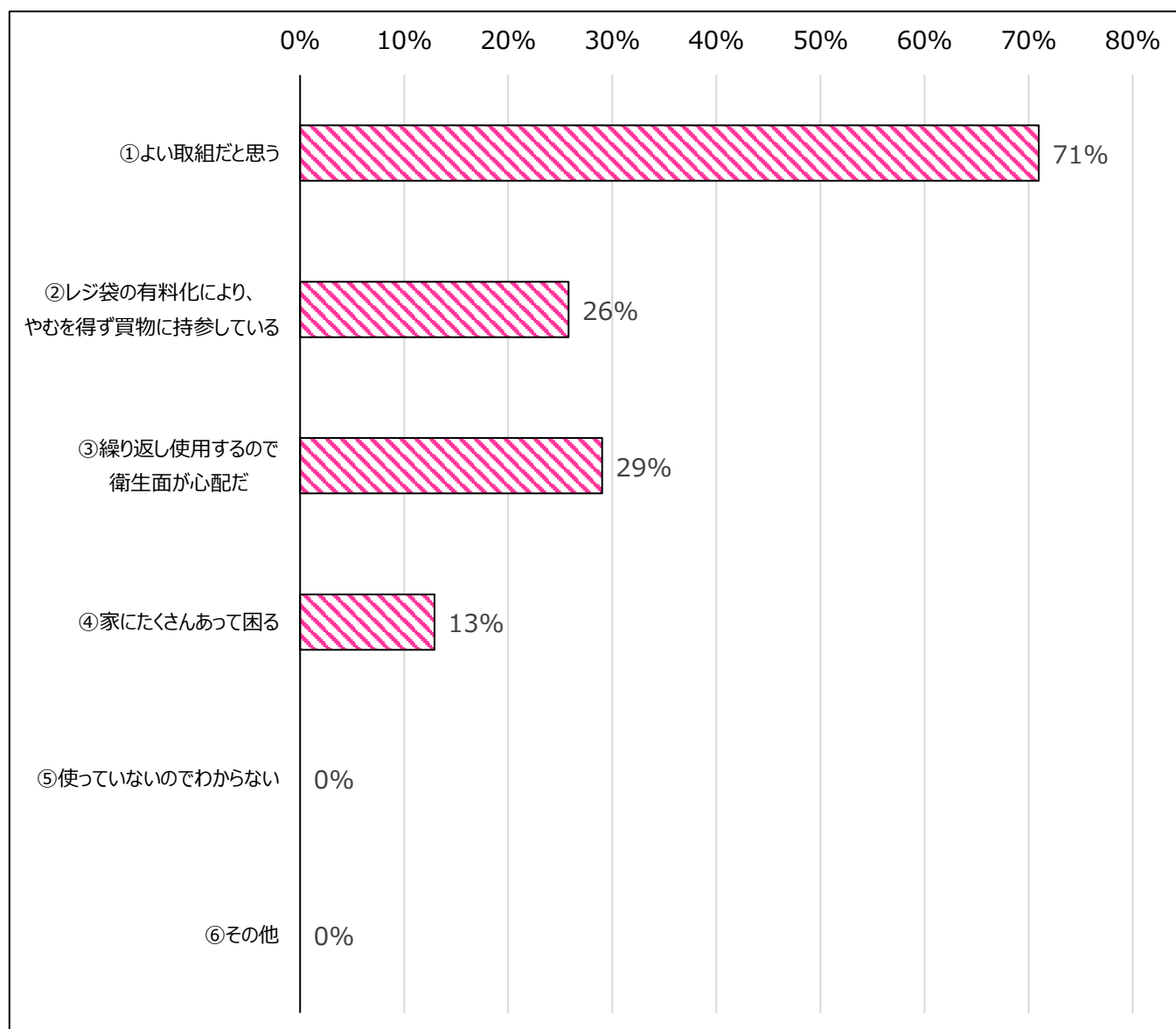
■購入しないときの理由

- ・マイバックを持参。
- ・前回購入のレジ袋がある時。

設問11 レジ袋の有料化（令和2年7月1日）をきっかけに、行動に変化はありましたか。



設問１２ マイバッグの使用について、お考えをおきかせください。（複数回答可）



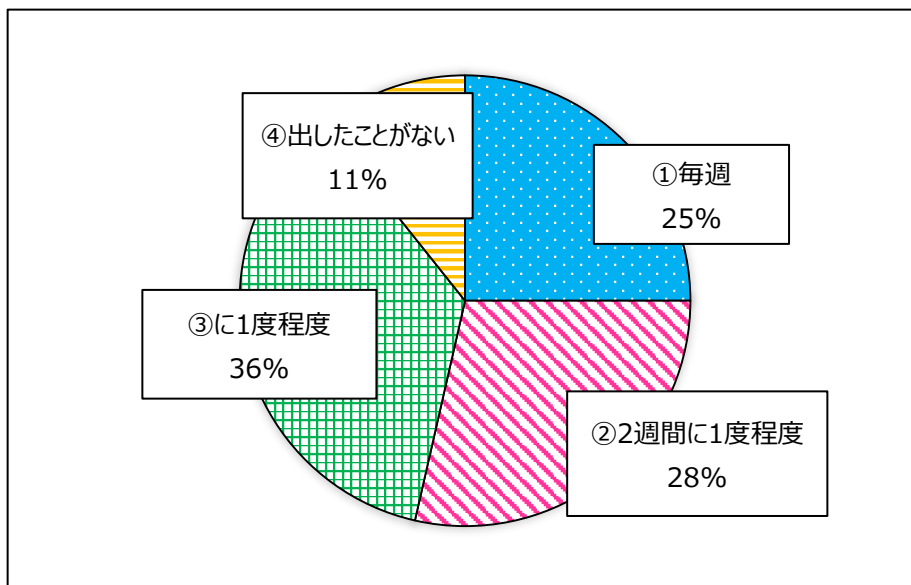
その他の内容

- ・有料化後にエコバッグのノベルティが増えたが、無駄なエコバッグを制作する資源とエネルギーは増えていないのかしらと思う。またごみ袋として使用していたレジ袋は現在購入している。

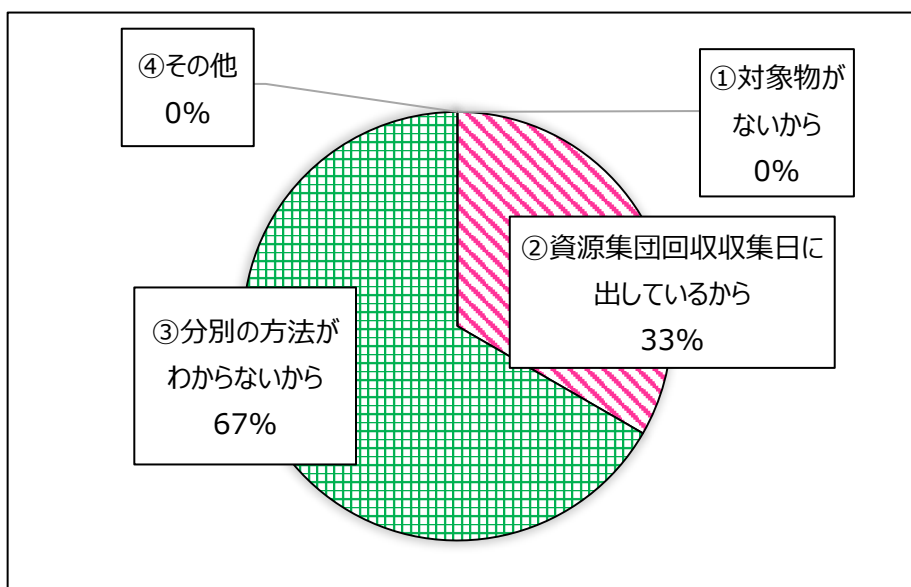


《「ミックスペーパー」と「プラスチック製容器包装」の分別収集について》

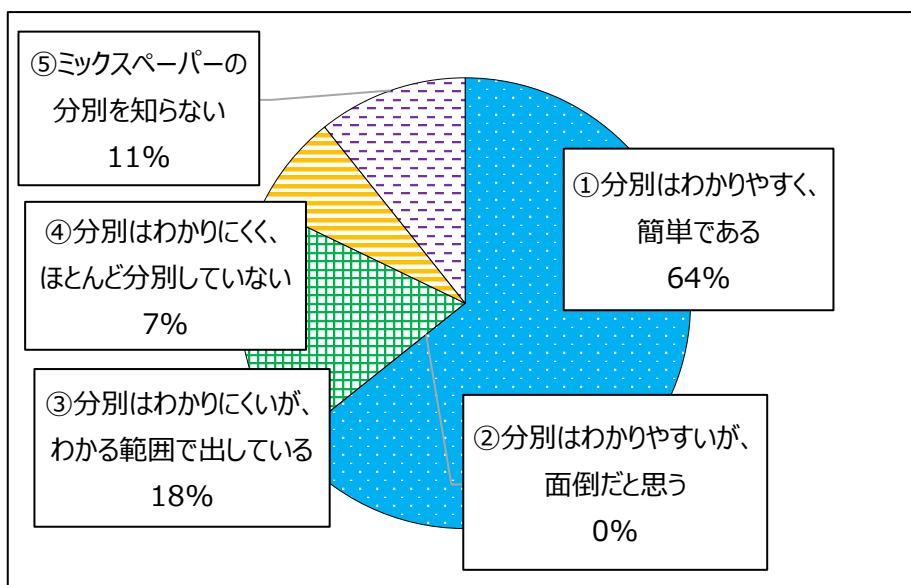
設問１３ ミックスペーパーをどのくらいの頻度で出していますか。



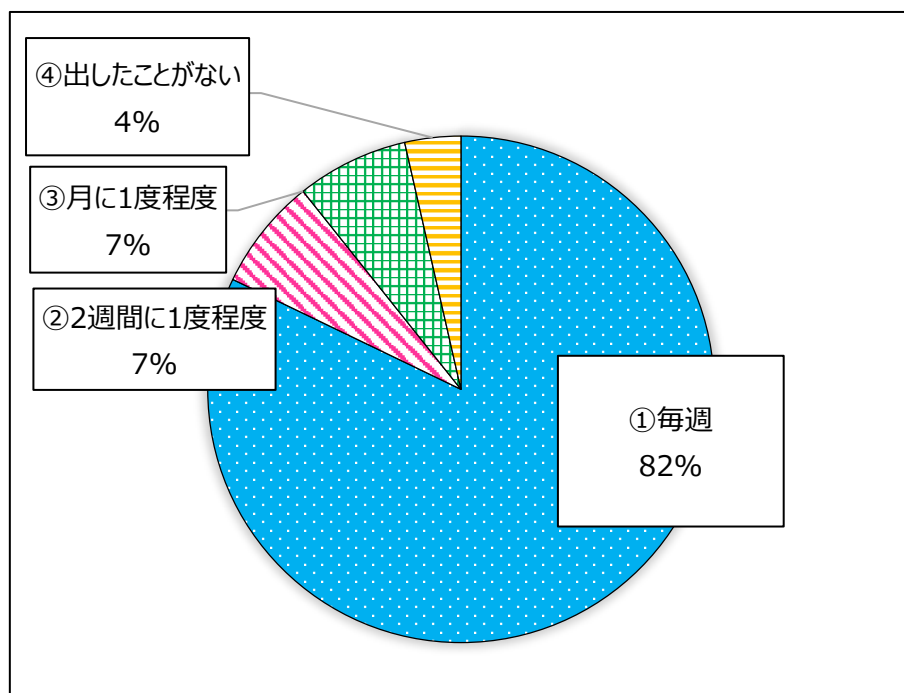
設問１４【設問１３で出したことがないと回答の方】出さない理由をお選びください。



設問１５ ミックスペーパーを分別することをどう感じていますか。

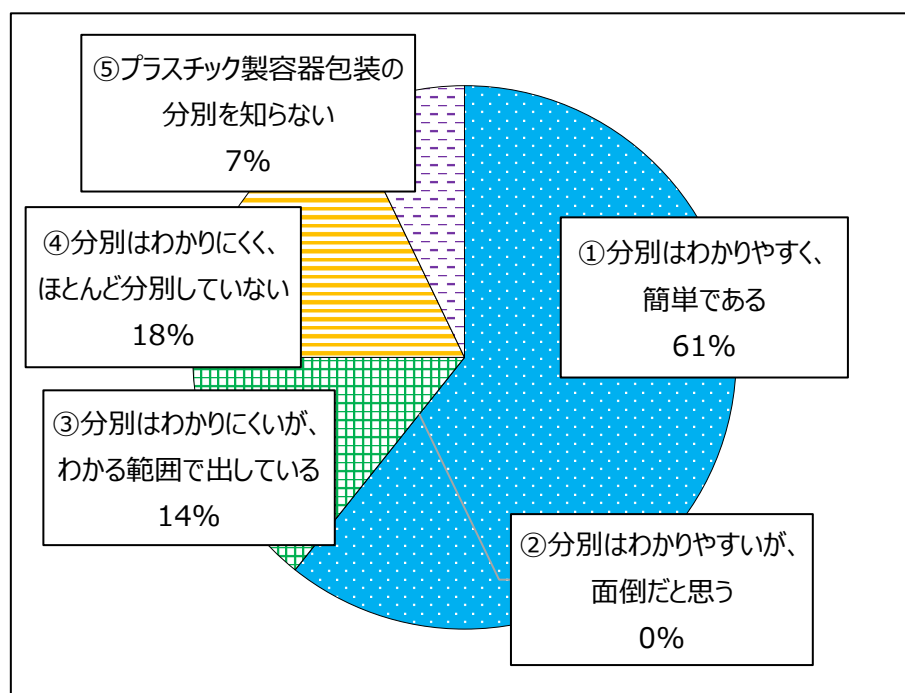


設問 16 プラスチック製容器包装をどのくらいの頻度で出していますか。



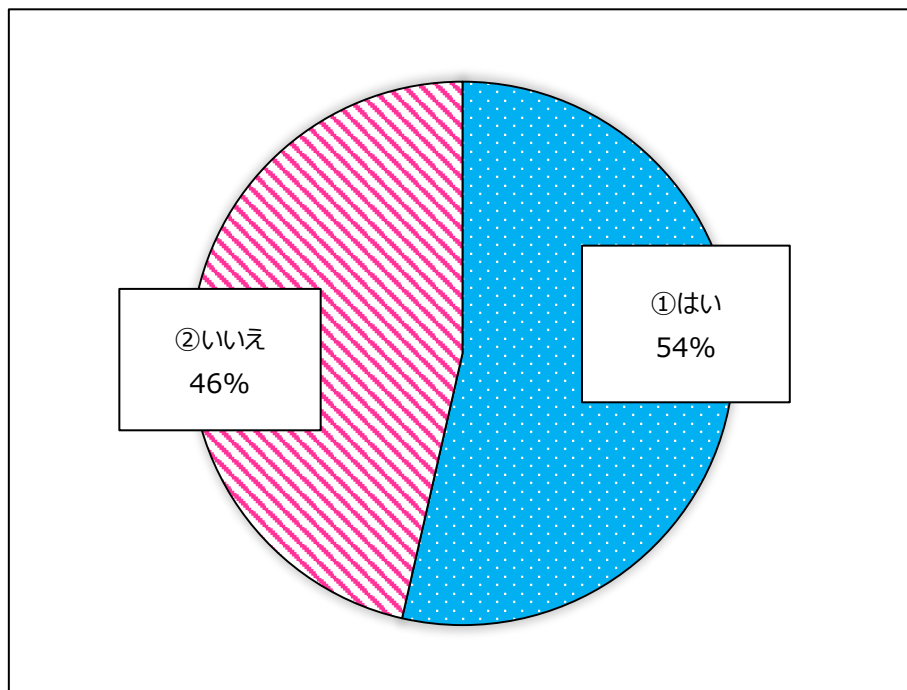
設問 17 【設問 16 で出したことがないと回答の方】 出さない理由をお選びください。
⇒「出したことがない」と回答した方は1名で、その理由は「分別の方法がわからないから」でした。

設問 18 プラスチック製容器包装を分別することをどう感じていますか。

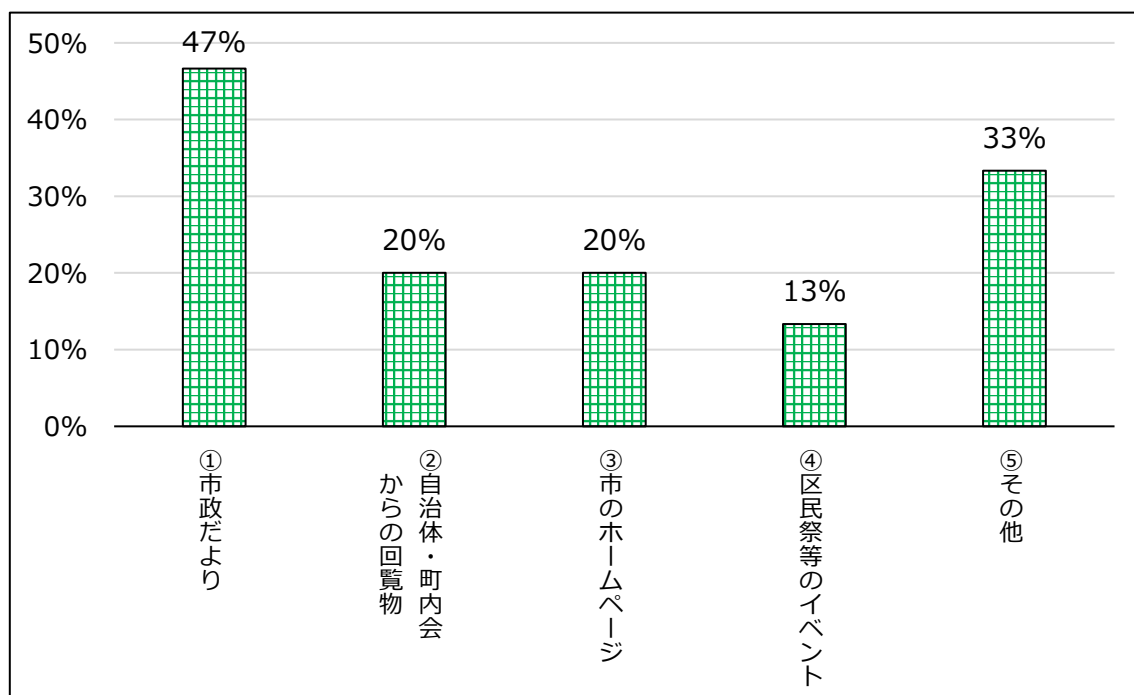


《拠点回収事業について》

設問１９ 川崎市では、拠点回収事業として、小型家電・布類・牛乳パック・蛍光管・インクカートリッジを区役所等市内公共施設に回収ボックスを設置し、回収していますが、御存知ですか。



設問２０【設問１９ではいと回答の方】拠点回収事業についてどこでお知りになりましたか？
（複数回答可）



その他の内容

- ・区役所に行った時、チラシや回収ボックスを見た。

設問２１【設問１９でいいえと回答の方】現在、拠点回収場所を次のとおり設置しています。

区役所、支所、出張所、生活環境事業所、ヨネッティー王禅寺、かわさきエコ暮らし未来館・王禅寺エコ暮らし環境館、CC かわさき交流コーナー（高津市民館内）
川崎市複合福祉センターふくふく ※品目によっては、設置していないものもあり

今後新たに公共施設に設置する場合、どこに設置するとよいと思いますか。

★公共施設…学校

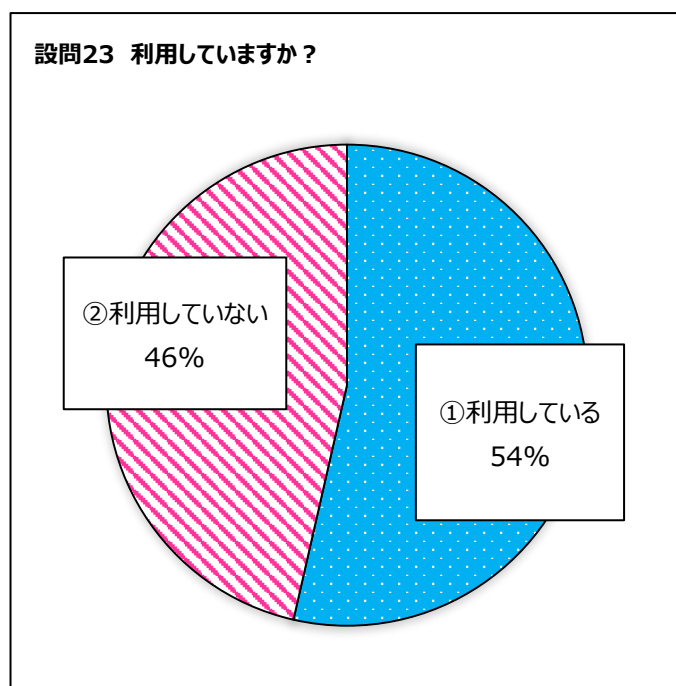
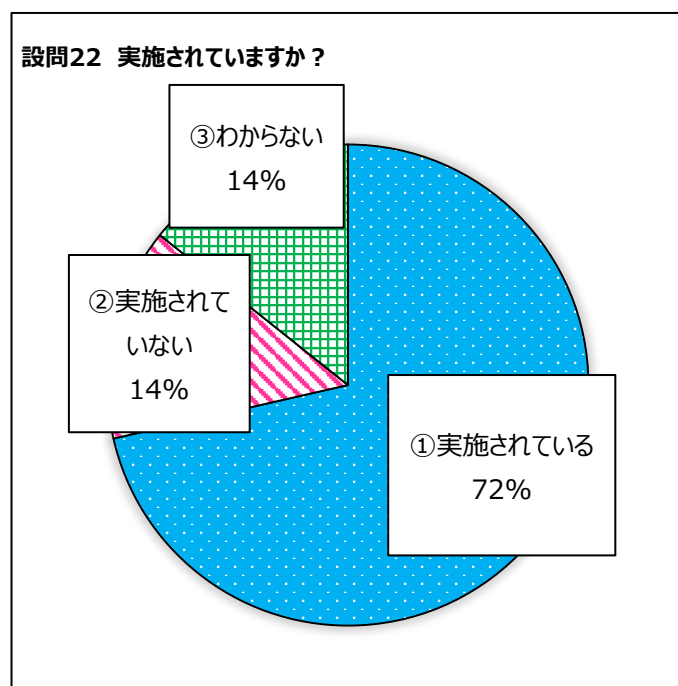
★公共施設以外…商業施設、コンビニ、スーパーマーケット、ホームセンター、駅、ゴミ集積所

（日常的によく利用し、数が多い施設、人目につきやすい場所に設置されれば便利との意見が多くありました。）

《資源集団回収について》

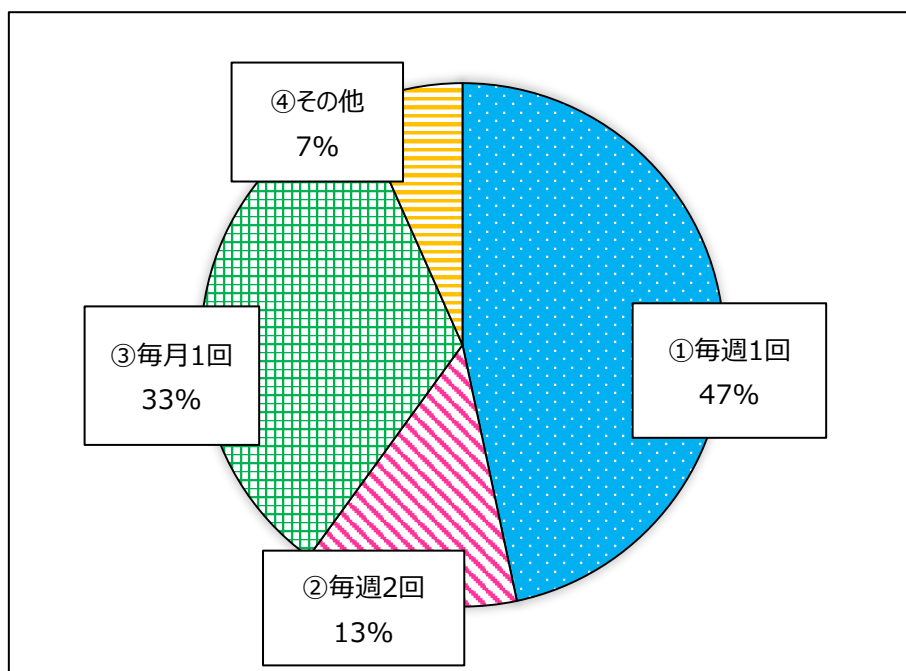
設問２２ お住まいの地域では『資源集団回収』が実施されていますか。

設問２３ 地域で行われている『資源集団回収』を利用していますか。



『資源集団回収』とは、町内会や自治会、PTA等地域の市民で組織される団体が、回収日時・回収場所を決め、新聞・雑誌・段ボール等の資源化物を自主的に回収し、回収業者に引き渡す活動です。

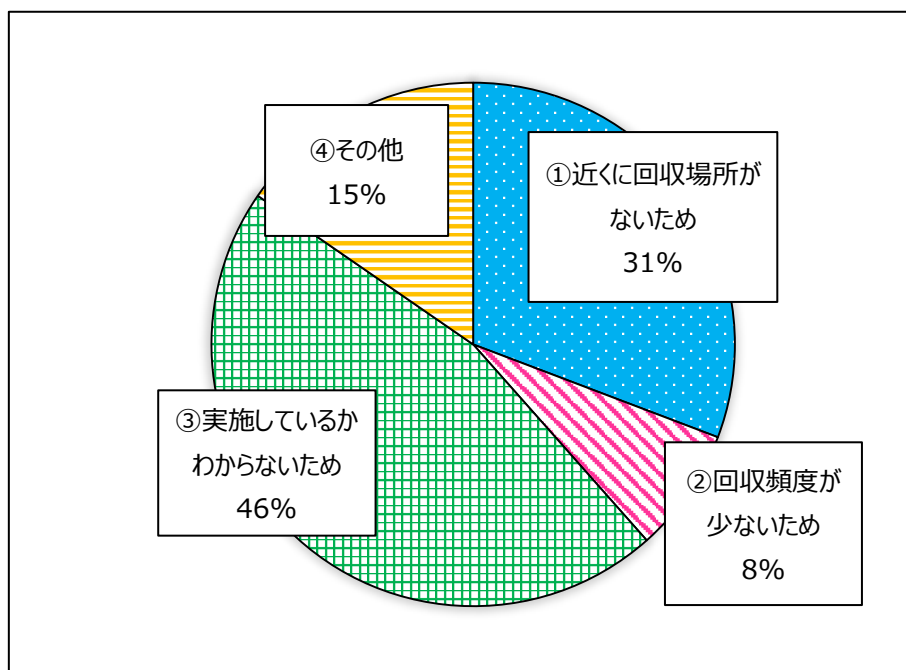
設問２４【設問２３で利用していると回答の方】お住まいの地域の回収頻度を教えてください。



その他の内容

- 通常のごみ集積所にいつでも捨てられるので頻度を気にしたことはない。

設問２５【設問２３で利用していないと回答の方】利用していない理由を教えてください。



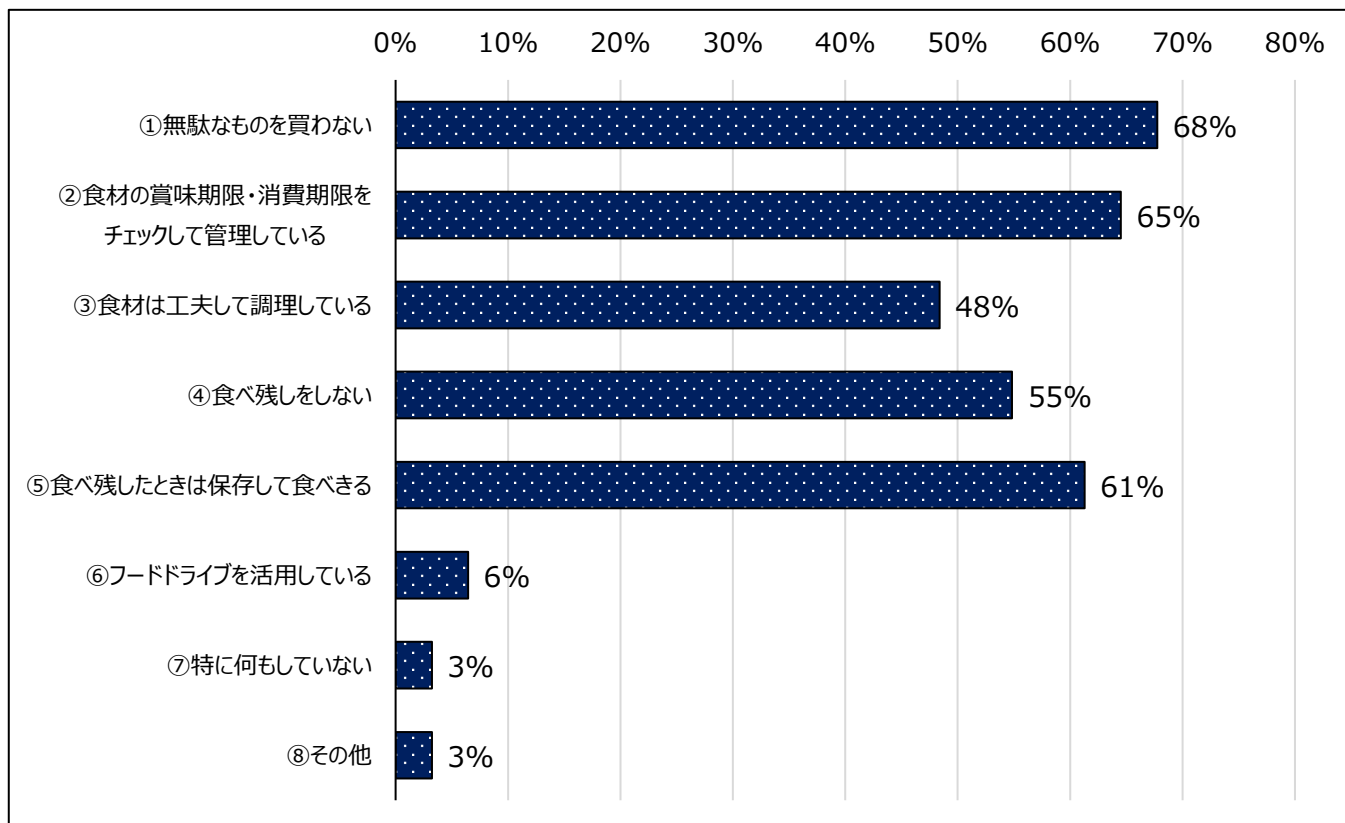
その他の内容

- 利用しなくても済んでいるため。
- ごみ回収に出している。

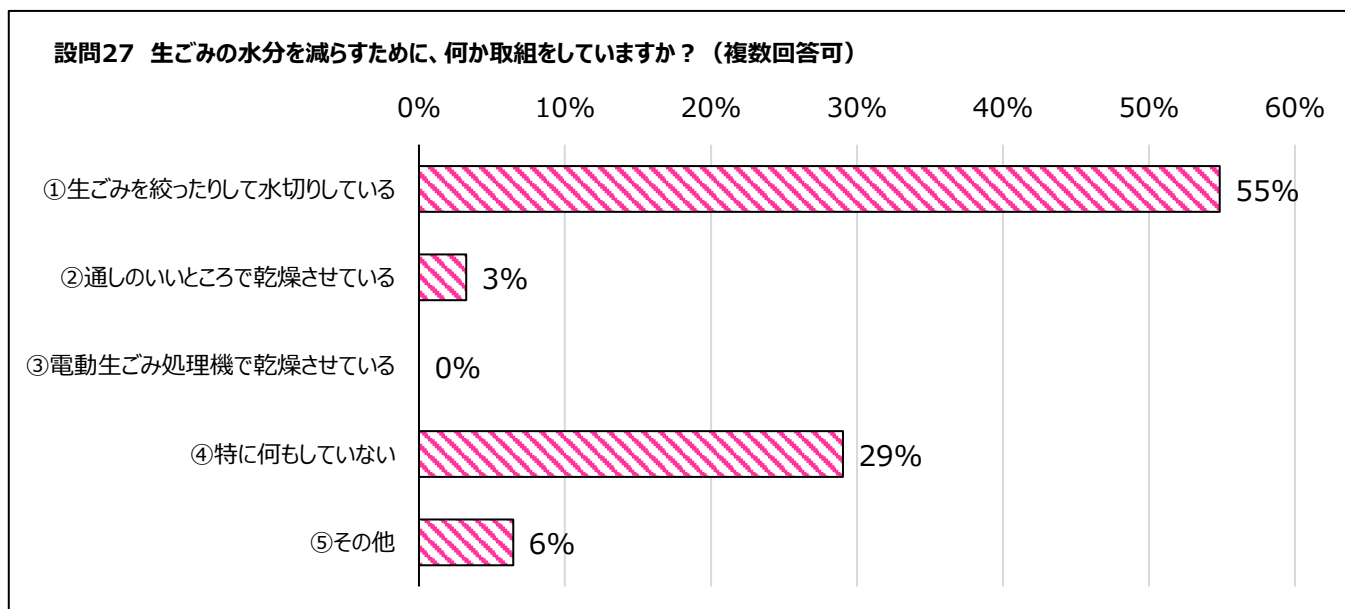


《生ごみについて》

設問２６ 食品ロス及び生ごみの発生量を少なくするために、何か取組をしていますか。（複数回答可）



設問２７ 生ごみの水分を減らすために、何か取組をしていますか。（複数回答可）

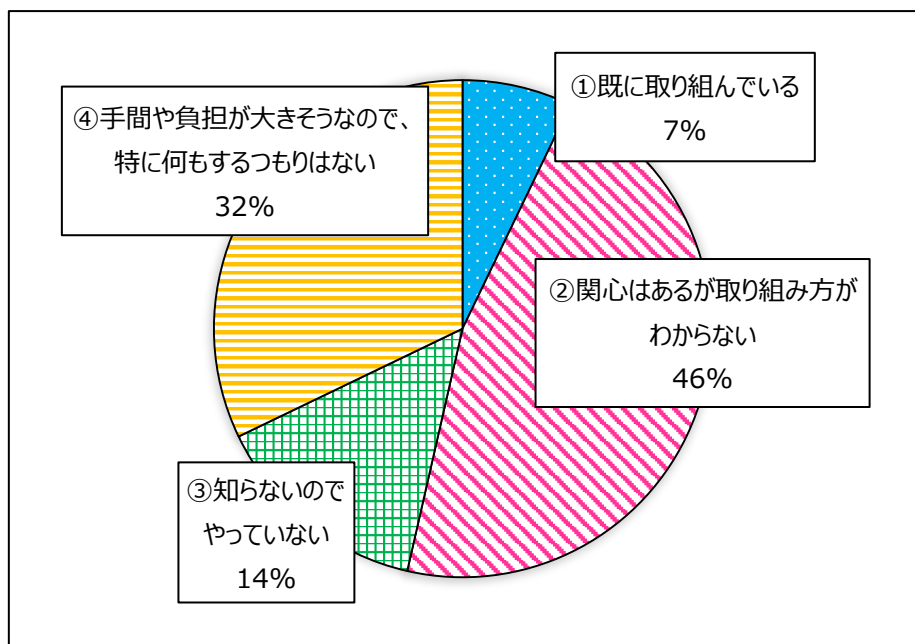


その他の内容

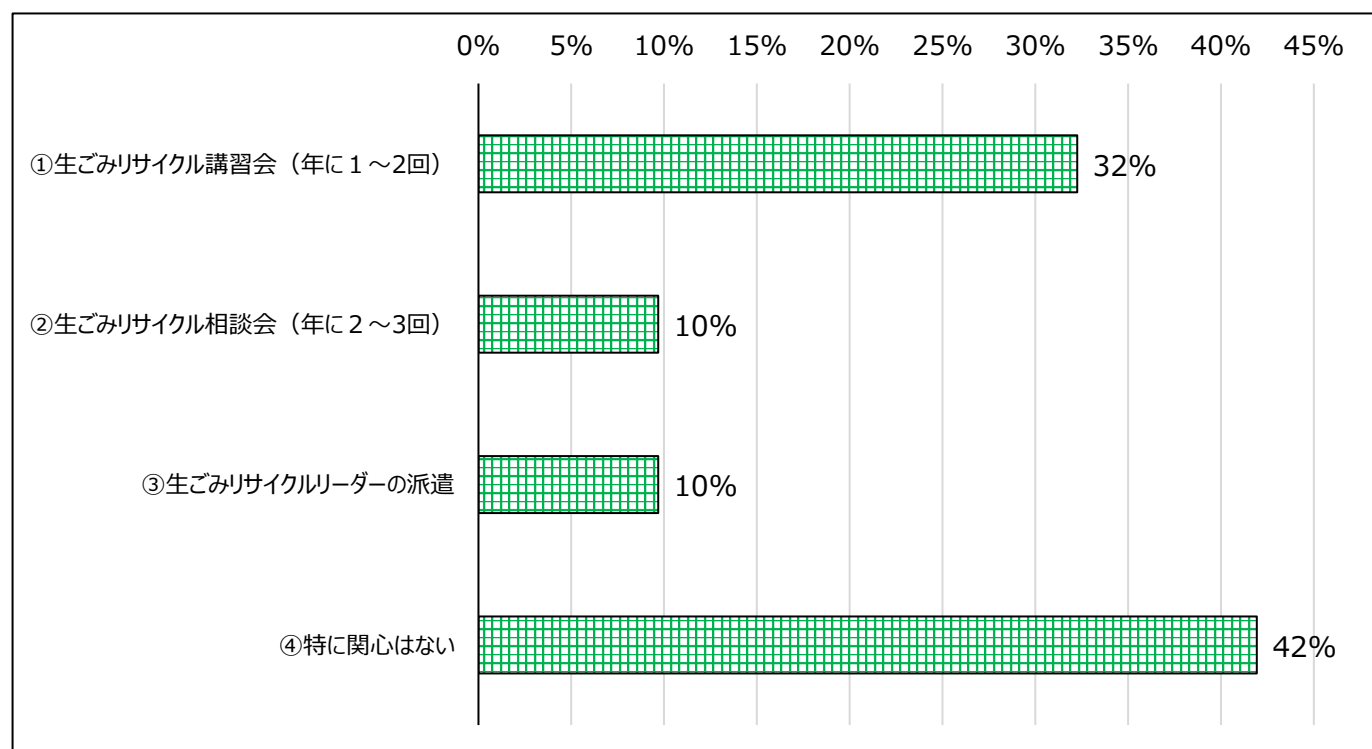
- 肥料として使用している。
- ディスポーザーなので気にしたことがない。

生ごみの８０～９０％は水分で、この水分を減らすことで臭いの問題などを軽減でき、運搬に伴う燃料の消費量を減らすことができると言われています。

設問２８ 生ごみをごみとして出さない取組として、生ごみ処理機やコンポストによる堆肥化のリサイクルをしていますか。

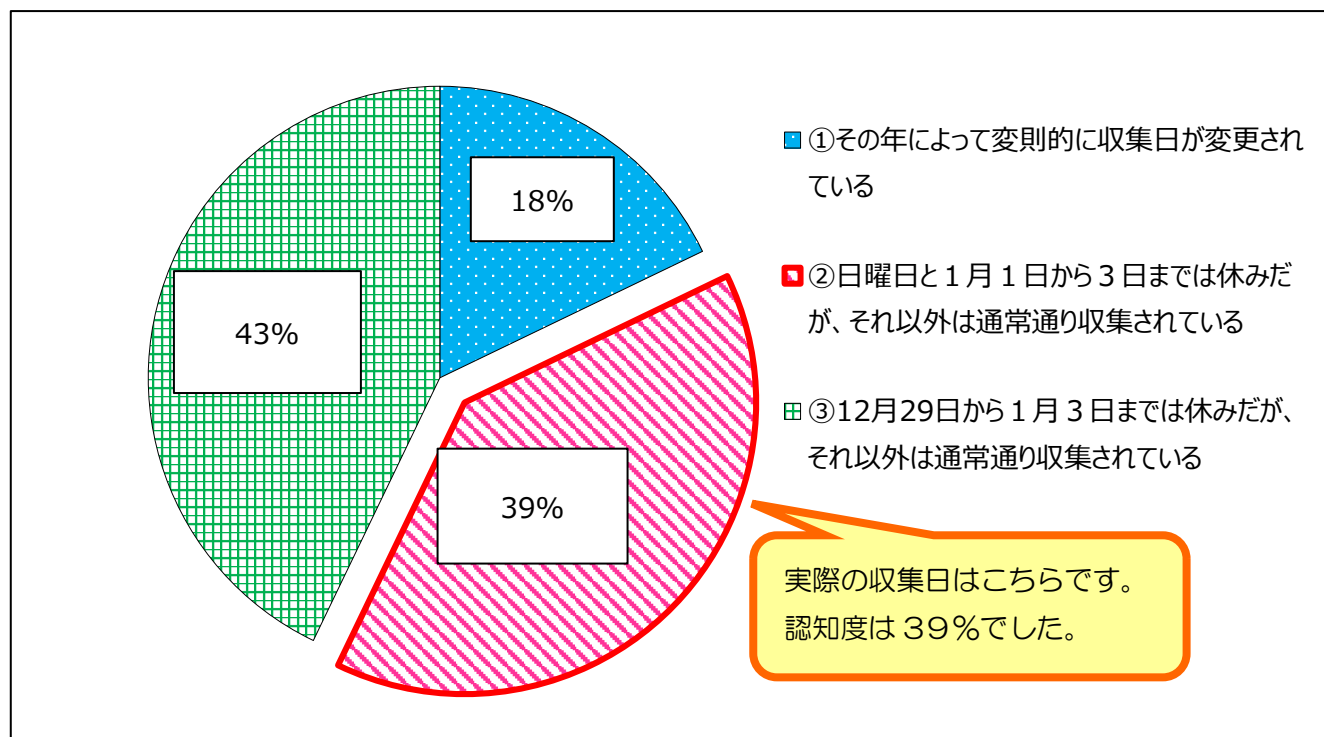


設問２９ 生ごみリサイクルの手法についての紹介やアドバイス等を行う取組で、受けてみたいと思うものを教えてください。（複数回答可）



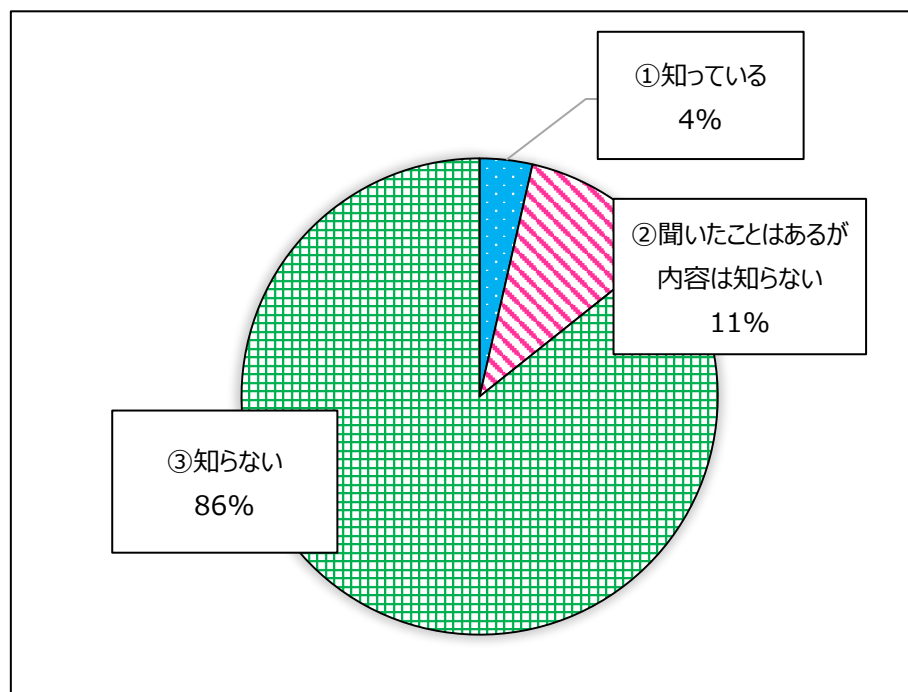
《年末年始の資源物とごみの収集日の認知度について》

設問 30 現在の年末年始の資源物とごみの収集日はどれだと思いますか。



《一時多量ごみ制度について》

設問 31 一時多量ごみ制度（有料）を御存知でしたか？



令和2年7月より、一般家庭での引越しや遺品整理などで出た多量のごみについて、市の許可を得た事業者を利用して市民が有料で回収を依頼できる「一時多量ごみ制度」を開始しています。

《消費生活とごみの減量・リサイクル全般について》

設問３２ 資源を大切に、環境に極力負担をかけない生活スタイルにしていくことについての御意見や決意など、御自由に御記入ください。

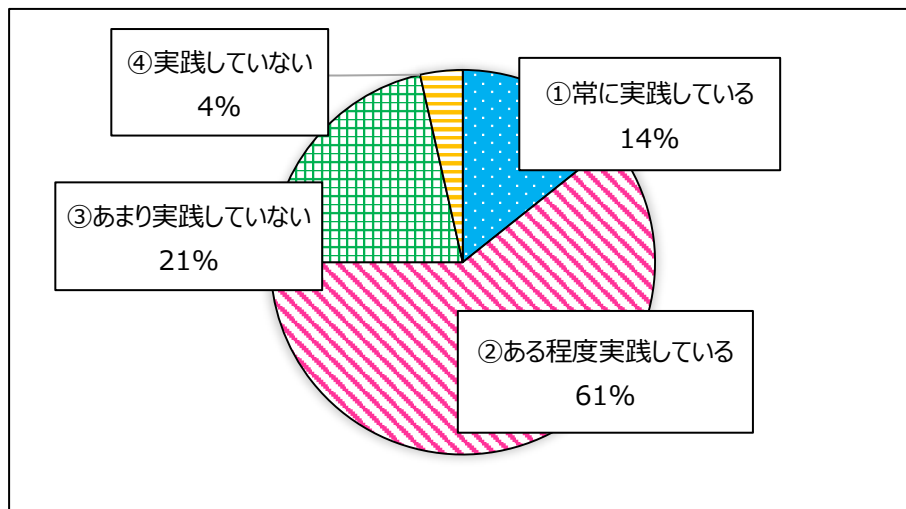
《自由回答》

- ・ごみは生活している以上出る。日本は包装多過で衛生的だという文化、歴史で生きている以上、エコやエコを推奨したとしても、関心のある方とそうでない方に二分すると思う。
- ・まさに個々人の意識と行動が大切だと思うが、近年の希薄な近所付き合いの町内会の活動状況だと、収集日以外や収集ポイント以外に廃棄している人に声をかけたり出来ない。「一人ひとりが」というよりは「とりあえず自分だけでも」という気持ちで努力している。
- ・川崎市ではプラスチックは汚れが大まかに落ちていれば良いというゴミの広報を見てから、安心してプラスチックに分類できるものが増えた。ミックスペーパーと古紙回収の違いがよくわかっておらず、束ねるほどたまることもないので、牛乳パックは燃えるゴミに入れることがある 川崎市は有料指定ごみ袋がないので感謝している。
- ・無理のない範囲で続けていきたいです。
- ・有料粗大ごみの対象が県内でも違うので、川崎市も良い焼却炉を設置してほしい。
- ・取り組みやすい仕組みづくり、近所付き合いの活性化などが必要。
- ・ゴミの分別についてあまり知らないの、学校教育でどのゴミがどの分別にあたるのかを学んだり、分別のわかりにくいゴミに関しては TVCM や目につくところへの掲示など工夫してわかりやすくする必要があると思う。
- ・印刷物をペーパーレス化して、ゴミを減らす。但し、紙でないと困る方も多くおられるのと、告知する場合には、ネットだと、関心のある方しか知る事が出来ない。
- ・自分にとって不要となったものはゴミとして処分するのではなく、まだ使える状態で寄付するなどしてリユースしてもらおう。リユースできないものはリサイクルに回すように心掛ける。
- ・ゴミを出さない生活を目指し、出たゴミは分別を徹底する リサイクルなど出来ることから積極的に参加する。
- ・譲り合いの場を提供してほしい。
- ・必要でないものは買わないようにする。
- ・自給自足・ごみゼロの暮らしは理想ではあるが、都市のマンション生活では、無理である。包装されたほうが綺麗で痛みが少ない。リサイクル品より新品のほうが気持ちいい。思うことと行動が矛盾することがあるが、少しずつ取り組んでいきたい。
- ・我が家では飲み物はなるべく作って水筒に入れて持ち歩くようにしています。あと、若い頃は雨が降るとしょっちゅうビニール傘を購入していましたが、今では雨晴兼用の折り畳み傘を常にバックに入れてあります。小さいことですが節約にもなるし無駄にゴミを出さない用にしたいと思います。
- ・中古品の物々交換や、無料譲渡など粗大ゴミ以外でも生田緑地など交通の便がよいところでしてもらえると利用者が増えると思います。
- ・家庭で行うごみ対策よりも、ゴミを出さない努力をしている企業の製品を買うこと。
- ・プラごみの分別が分かりにくく、理解している人が非常に少ないだろうと思います。
- ・家庭で出るごみなどは、しっかり分別して回収日に出すことや必要でないものは買わないようにすることなど、これからの環境のためにいま行っていることは継続していく。
- ・生ゴミのコンポストはやってみたいが、方法が分からない。臭いや虫が出たり近所迷惑にならないかという心配もある。

2. 地球温暖化対策について

《日常生活における意識について》

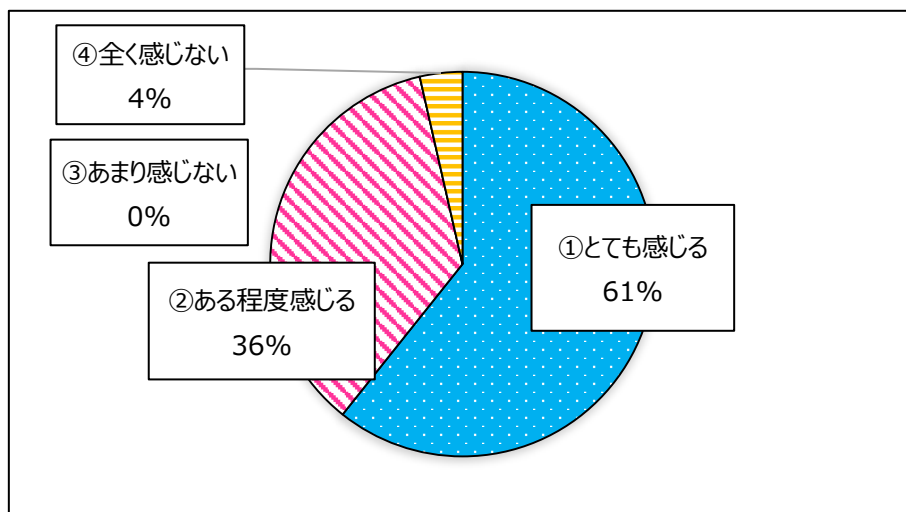
設問1 日常生活において環境配慮型の生活を実践していますか。



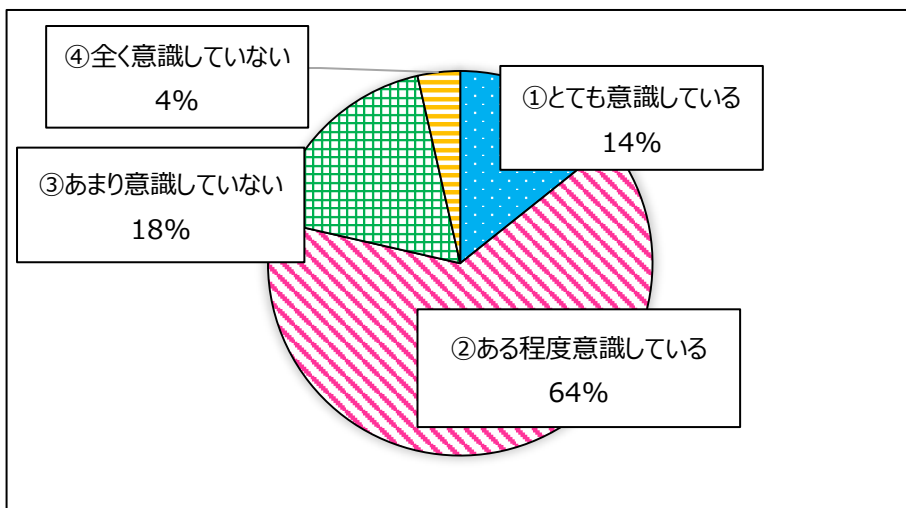
設問2 【設問1で実践していないと回答の方】 実践していない理由は何ですか。

⇒「実践していない」と回答した方は1名で、その理由は「関心がない」でした。

設問3 昨今の地球温暖化の進行について危機感を感じていますか。

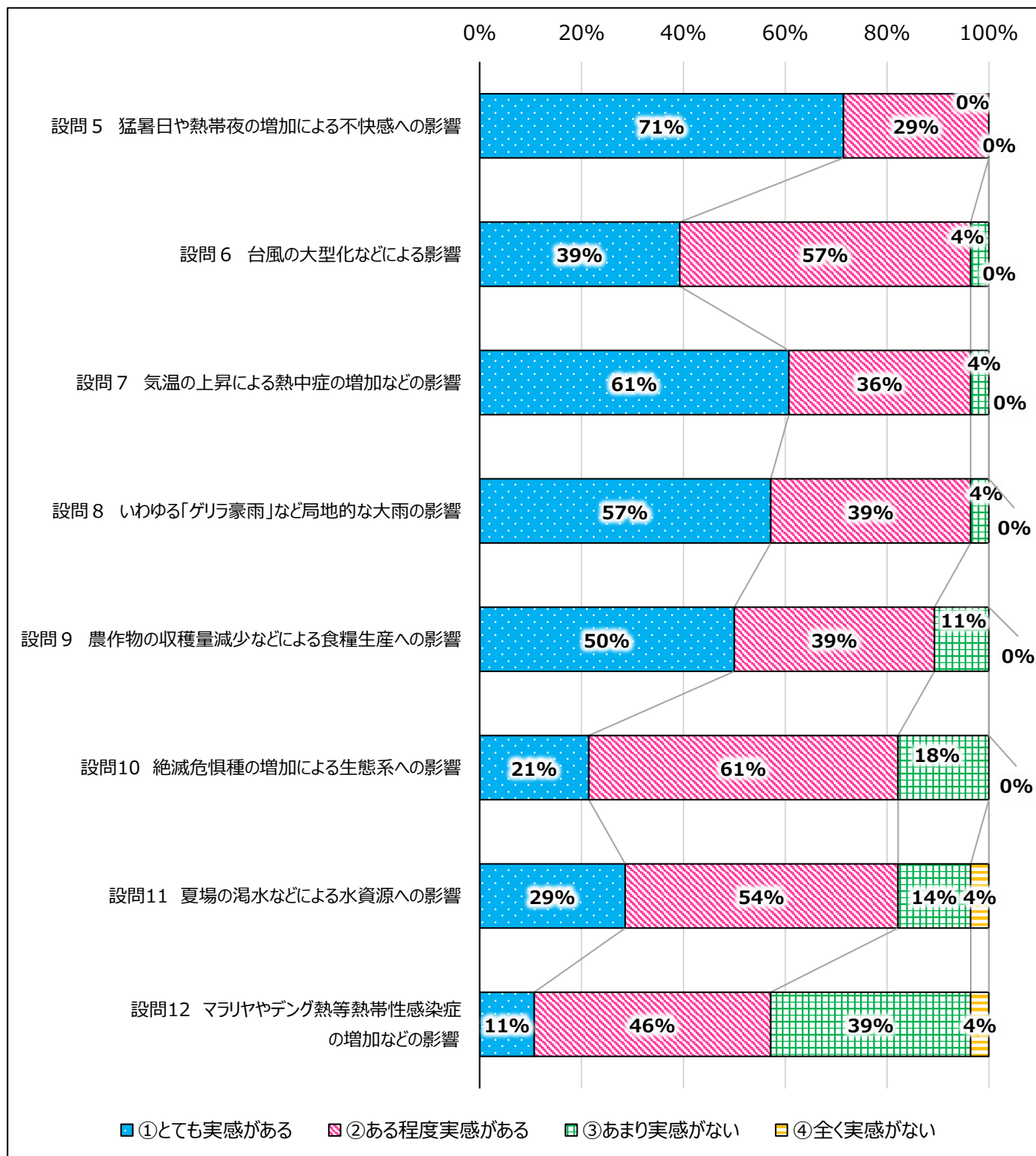


設問4 日常生活の中で地球温暖化対策について意識していますか。



「地球温暖化による気候変動の影響（猛暑日や局地的大雨の増加など）について」

設問5～12 次のことについてどのように感じていますか？



頭の上に葉っぱの
「ろじいちゃん」

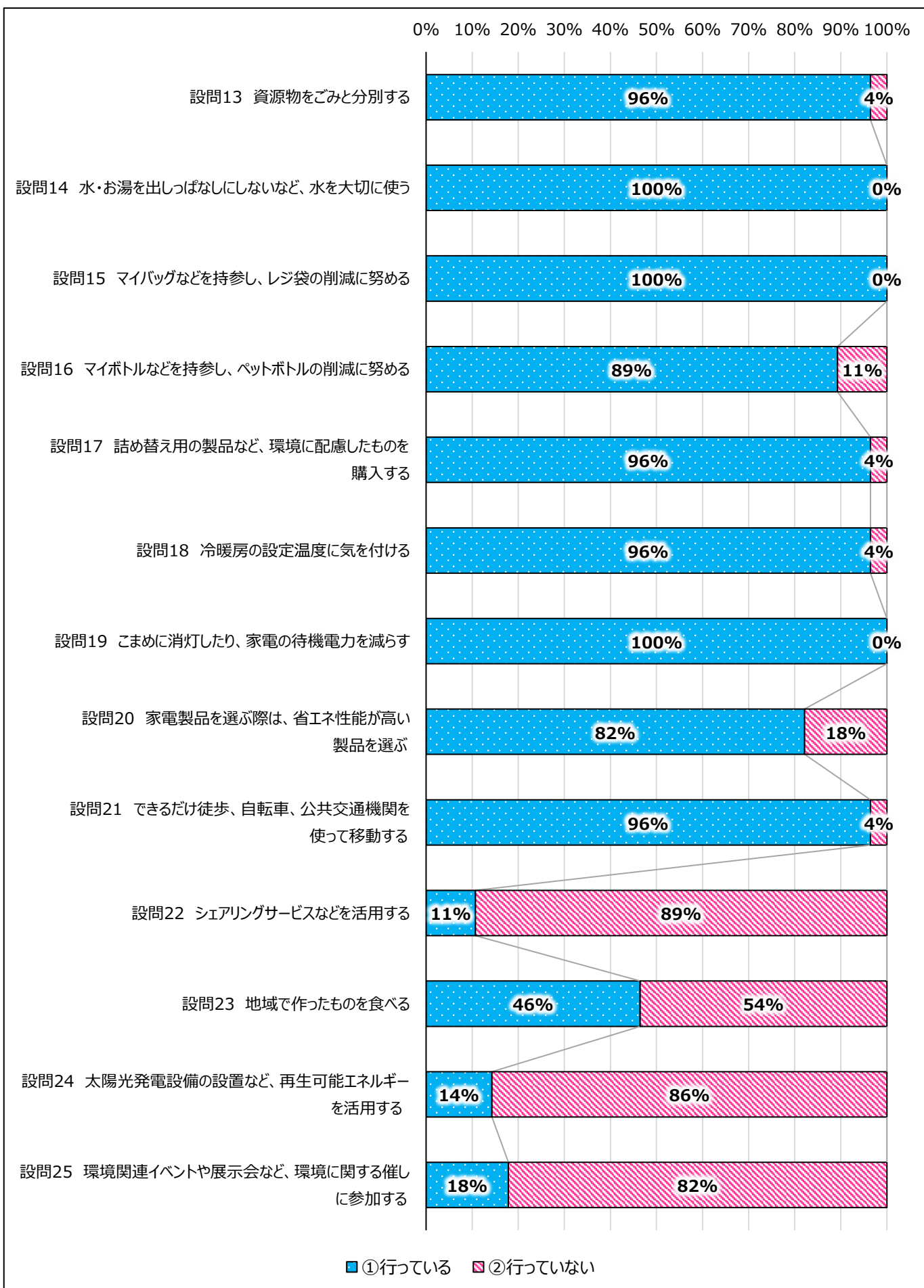


エコちゃんず

頭の上にお財布の
「のみいちゃん」

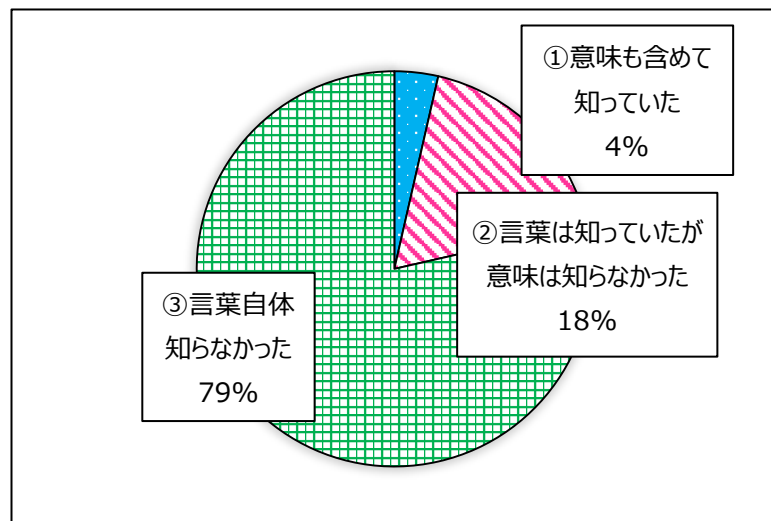
《個人でできる「緩和策」について》

設問 13～25 次の「緩和策」を行っていますか？



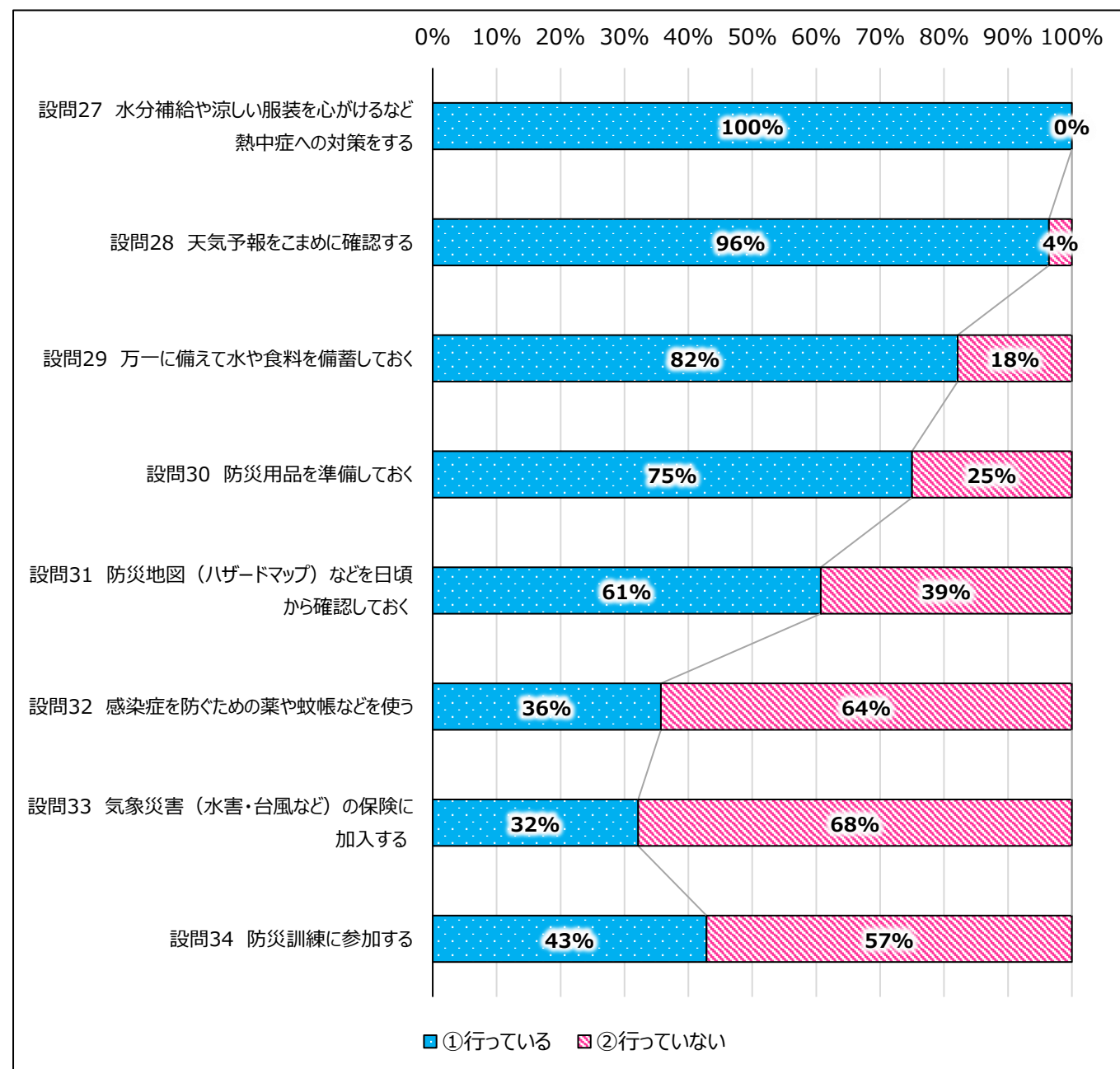
<<「適応策」について>>

設問 26 気候変動の影響に対する「適応策」について知っていましたか。



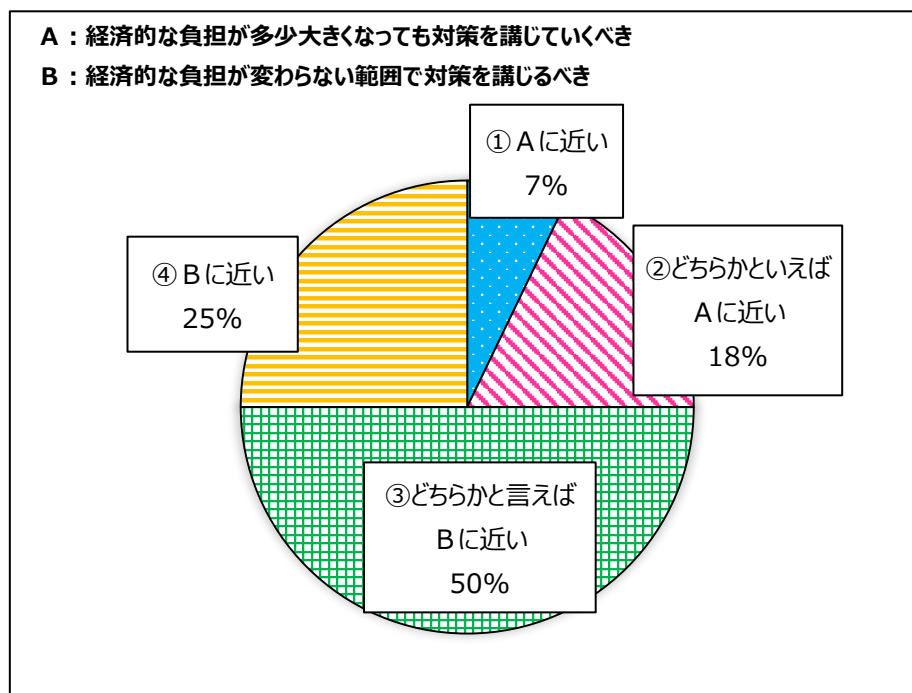
「適応策」とは、「緩和策」に対して、既に生じている気候変動の影響や将来予測される気候変動の影響を軽減するための対策（災害時の備え、治水対策、熱中症対策など）のことをいいます。

設問 27～34 次のような個人でできる「適応策」を行っていますか？

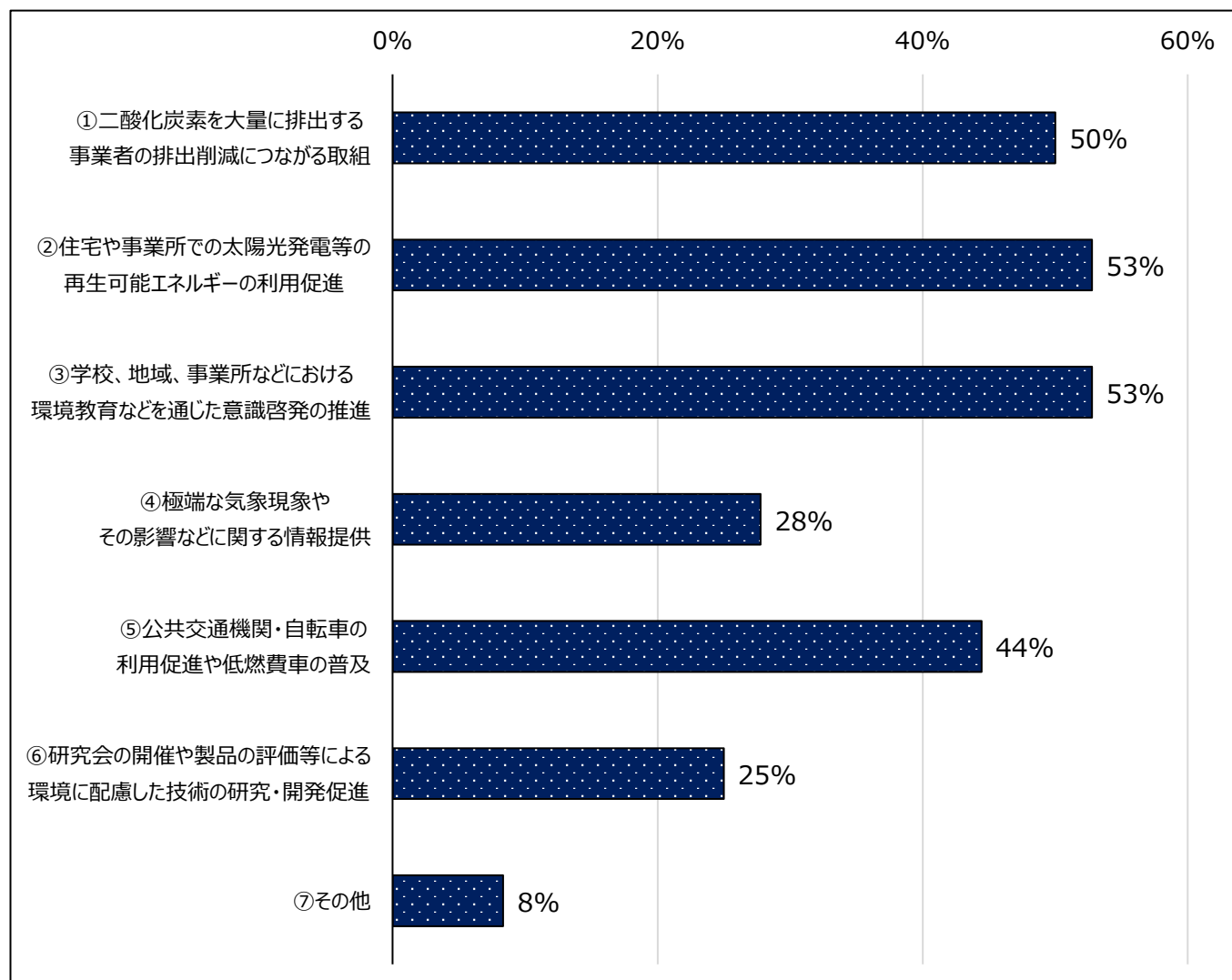


《川崎市の地球温暖化対策について》

設問 35 川崎市が取り組む地球温暖化対策について、次のAとBの考え方ではどちらの方があなたのお考えに近いですか。最も当てはまるものを1つだけ選んでください。

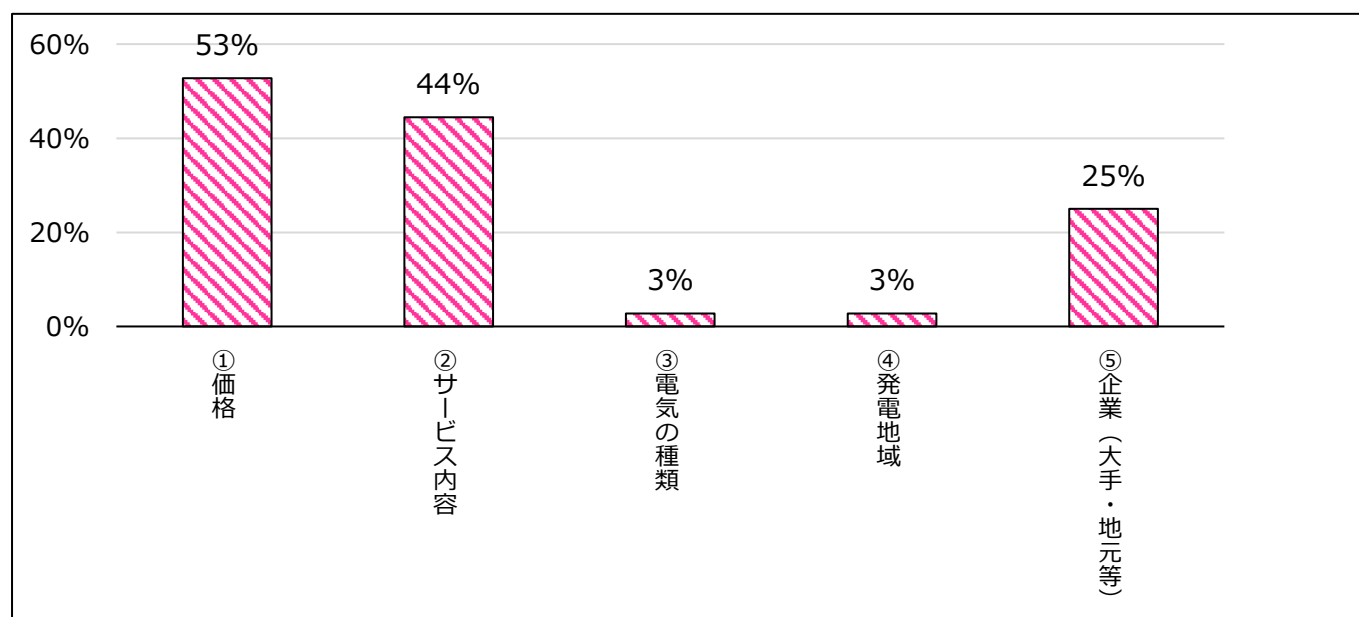


設問 36 今後、川崎市に取り組んでほしい地球温暖化対策は何ですか？（複数回答可）



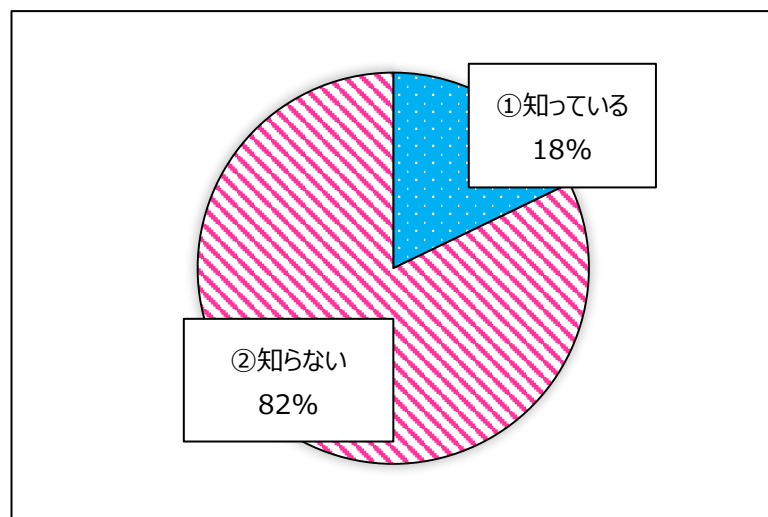
《電力会社の選定理由について》

設問 37 平成 28 年 4 月から、一般家庭等すべての需要家が電力会社を選べるようになりましたが、電力会社を選ぶ際に何を重視しますか。（複数回答可）



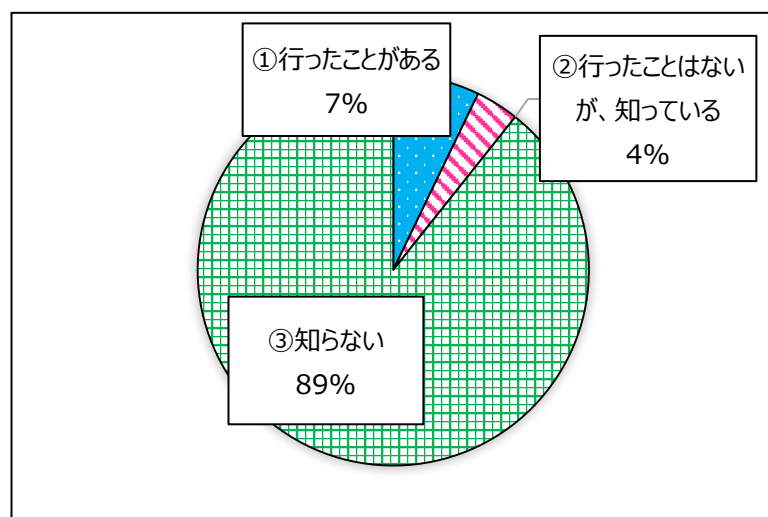
《川崎市の取組や施設について》

設問 38 脱炭素モデル地区「脱炭素アクションみそのくち」を知っていますか？



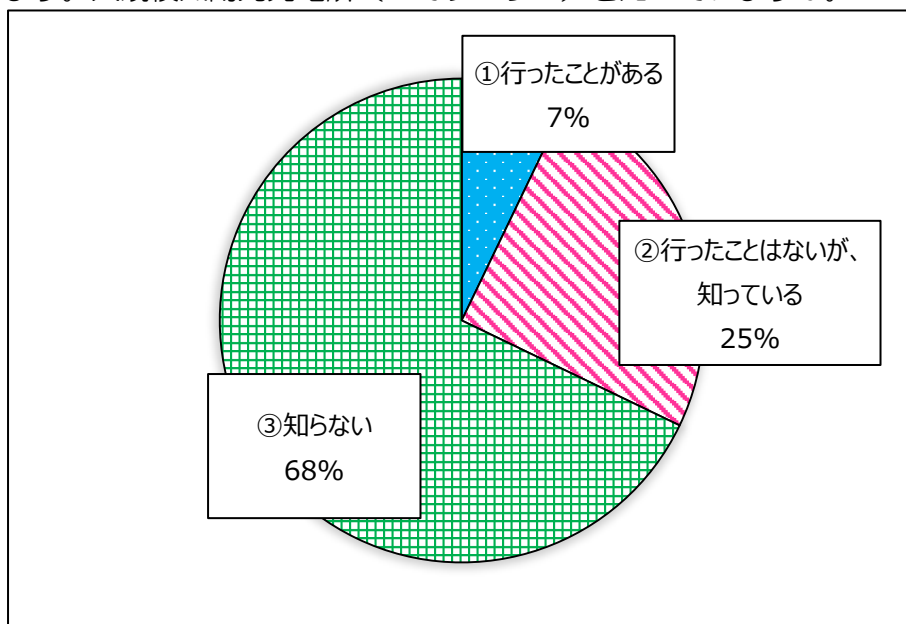
川崎市では、高津区溝口周辺地域を脱炭素モデル地区「脱炭素アクションみそのくち」に設定し、脱炭素化に資する身近な取組や先進的な取組を集中的に実施することで、市民一人ひとりの環境配慮型のライフスタイルの行動変容を促し、脱炭素社会の実現を目指しています。

設問 39 川崎市地球温暖化防止活動推進センターを知っていますか？

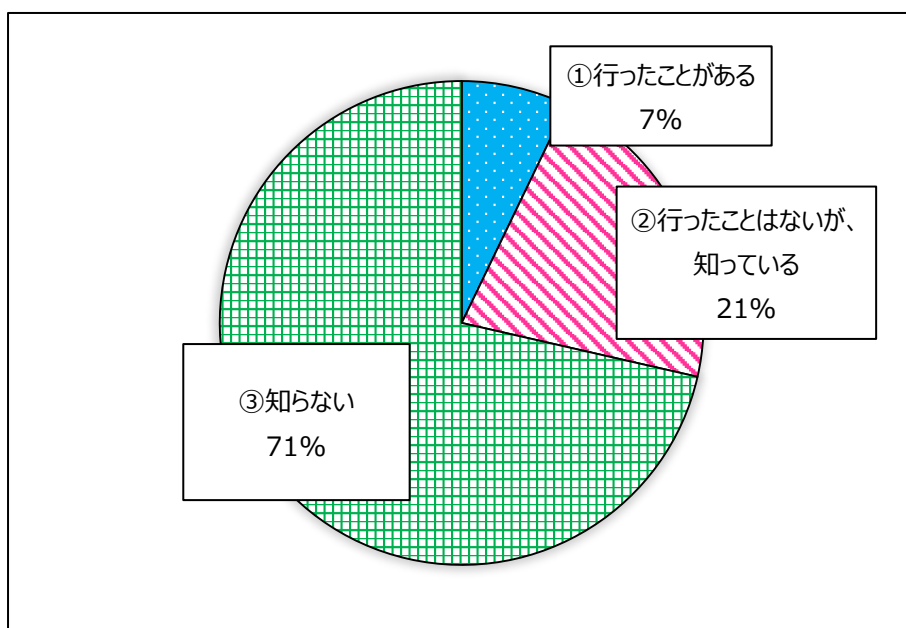


川崎市では、川崎市地球温暖化防止活動推進センターを指定し、地球温暖化防止対策の普及啓発を推進しています。当センターでは、高津市民会館内に設けた情報発信拠点「CCかわさき交流コーナー」を運営し、地球温暖化防止対策に関する取組の相談・パネル展示・講座の開催等を行っています。

設問 40 川崎市内には、浮島町と扇島に合計出力約 2 万 kw の大規模太陽光発電所（メガソーラー）があります。大規模太陽光発電所（メガソーラー）を知っていますか。



設問 41 かわさきエコ暮らし未来館を知っていますか？



浮島町にはメガソーラーを始めとした再生可能エネルギーや、地球温暖化、資源循環について体験型の展示で学べる環境学習施設「かわさきエコ暮らし未来館」があります。



《地球温暖化対策全般について》

設問 42 地球温暖化対策について、御自由に御記入ください。

《自由回答》

- 人間が今まで行ってきたことが返ってきているからだと思う。一度変化したものを元に直すには時間がかかる。環境をこれ以上壊さないように騙しだまし生きて地球環境を延命することでしか、生きていかれないと思う。
- 地方自治体においても限りある財源を近視眼的な使い方ではなく、地球規模で考え長期的視野で見た政策をお願いしたい。それは市民全員の未来を守るものだと思うし、納税者がこれからの人生に希望を持てる、川崎市民であることに誇りを感じる税金の使い方をしてほしい。
- 「脱炭素アクションみそのくち」や、モデル地区になっていることを最近知りました。「CC かわさき交流コーナー」も、いきなり設置されいまだに何をやっているかわからない所、という印象。今年イベント開催があるようですが、夜間や平日にも周辺住民に告知する努力をして欲しいです。行政と特定の事業所や団体だけの自己満足では意味がないと思います。
- 温暖化によって、海でも獲れる魚が変わってきたり、旬の時期がずれてきている等を耳にしますが、この変わってきた環境に自分達の生活環境を変えていく、慣れて行く事も必要と思いました。今後も続く変化に対応した、新しい取り組みを考えないといけない気がします。
- 意識を持って取り組む事で対策に繋がると思います 地球温暖化を家庭で話し合い、少しでも防ぐ努力をしていきたいです。
- 地球温暖化対策は、個人より事業者に重きをおくと思う。CO²削減等、個人で意識し実践できるものには限りがあり、大企業・工場等において製造過程・製品供給での対策が必要だと思う。
- 今年は猛暑日が多く子供が外で全然遊べませんでした。今後温度がさらに上がっていくのを少しでも食い止める為にも今から少しずつ出来ることをやっていきたいと思いました。まずは知る事！そして行動したい！
- 地球全体の大きな変化を感じながらも、自分には何もできないとってしまっている現状。小さな行動がどれだけ効果があるのかデータを出して頂ければ、個人の意識も変わってくるかもしれないと思う。
- 小さい事ですが、赤ん坊や幼児、子供がいたら、公共の乗り物で出かけづらいのが現状です。ベビーカー（2人のりも）や、車椅子などがもっと簡単に乗り降りができるようなスロープがあって、乗った後に邪魔な扱いをされなければもっと使用して出かけられるのと思います。電車もバスも特に朝と夕方以降は通勤ラッシュで絶対に危なくて乗れません。そういうものがもう少し整備されると、車の使用も減るかと思います。
- 川崎市の太陽光発電、風力発電への取り組みに疑問を感じる。
- 個人で取り組める事について、啓発活動や情報が足りない。又取り組んだ事に対してメリット感があるような自治体や企業等の還元策も必要だと思います。
- 高津区溝口周辺地域を脱炭素モデル地区、とのこと。かなり行ってるが全く感じないのは、実施者の怠慢としか言えない。

